

公表

事業所(児童発達支援)における自己評価総括表

○事業所名	笠間市児童発達支援事業所「まろん」		
○保護者評価実施期間	2025年2月17日 ～ 2025年3月7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年3月3日 ～ 2025年3月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に合わせて小集団指導や個別指導を組み合わせて支援を行うことができる。	日々の指導の振り返りや定期的なケース検討を行いながら、一人一人に合わせた支援を行っている。	今後も継続して、お子さんの評価、アセスメントをしっかりと行い計画を立案していく。また、職員の研修等を定期的に実施し、職員一人一人のスキルアップを図り、よりよい支援が行えるようにしていく。
2	親子通所のため、保護者とお子さんの支援のねらいや内容を共有することができる。	活動のねらいや内容を必要に応じて、その場で保護者に伝えられている。	面談の時にお子さんの様子を振り返りながら、支援のねらいや内容を確認し、保護者のニーズやお子さんの実態に合った療育を進められるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの周知が不足している。	契約時に説明は行い、教室に掲示していたが、継続的ではなく浸透していないため。	面談時に、各種マニュアルについての説明を盛り込み、定期的に周知する機会を設けていく。